

## 性相院

江戸時代（1603 年～1867 年）まで、僧侶たちは宝珠山の斜面に立つ山寺の 12 の寺院で生活し、修行を積んでいました。性相院は、現存する 4 つの寺院の 1 つです。性相院では、天の仏である阿弥陀如来と、毘沙門天（仏教四天王の一尊）が祀られています。阿弥陀如来像は山寺を建立した僧侶、円仁（794 年～864 年）作と言われています。毘沙門天像は、当時最も名高い仏師の 1 人であった運慶（1150 年～1223 年）作です。

この寺院にはさらに、強い権力を持ち日本の東北地方の広い地域を支配した大名であり、近隣の宮城県仙台市を築いた伊達政宗（1567 年～1636 年）の母、義姫（1548 年～1623 年）の位牌も祀っています。